

神戸大学校友会ニュースレター

いつも校友会の活動にご支援ご協力いただきありがとうございます。

— インフォメーション —

【1】トピックス

- (1) 神戸大学校友会東北支部設立記念総会のご報告
- (2) 「阪神・淡路大震災 30 年事業委員会」を設置

【2】お知らせ

- (1) 第 13 回日中学長会議に参加
- (2) 科学技術イノベーション研究科年次定例シンポジウム『低炭素社会の実現に向けた科学技術イノベーションへの挑戦』を開催
- (3) 「AI 技術の進化と地域社会の変革」をテーマに議論—神戸でのカンファレンスに藤澤学長が登壇
- (4) 令和 5 年度神戸大学高度専門研修「大学経営人材育成セミナー」を開催
- (5) ビズリーチと大学発ベンチャー創出を目的とした協定を締結
- (6) 第 13 回神戸大学ブリュッセル拠点フォーラムを開催
- (7) ルーヴェン大学を訪問
- (8) 韓国国立ハンバット大学から訪問
- (9) 神戸大学と神戸新聞社が「情報で、命を守る」アイデアソンを開催
学生とメディア関係者が一緒に議論
- (10) 「第 8 回神戸大学・北京外国語大学国際共同研究拠点シンポジウム」を開催
- (11) eco 活動見学会 2023 を開催

【3】研究ニュース

- (1) ザトウクジラが漁船周りで拾い食い!?
少エネな餌取り方法に潜むクジラと漁船双方へのリスクに警鐘
- (2) 神戸大学と白鶴は、酒粕飼料による国産鶏肉の食味向上効果を確認！
神戸市 CO2 削減支援制度を活用した共同研究で輸入飼料に代わる国産酒粕飼料による国産鶏肉の付加価値向上と CO2 削減を目指す
- (3) ヒトの免疫細胞を持つマウスを用いたがん免疫療法モデルを開発

- (4) 精神科診療におけるオンライン診療は対面診療と同等の治療効果
- (5) 老化細胞が巨大化する分子メカニズムを解明
- (6) 従来の 40 倍を超える高解像度を実現する新奇ガンマ線望遠鏡を確立

【4】受賞・受章

- (1) 国際文化学研究科深川 宏樹准教授が「第 50 回澁澤賞」を受賞
- (2) 「ソーシャル・イノベーション・チャレンジ日本大会 2023」の最終コンテストで神戸大学起業部 HIM が若者ビジョン賞を受賞
- (3) 第 25 回キャンパスベンチャーグランプリ大阪 (CVG 大阪 2023) にて神戸大学起業部の FairMed が「CVG 大阪最優秀賞」を受賞
- (4) 「ミライノピッチ 2023」で神戸大学起業部 FairMed がグランプリの NICT 賞
- (5) 第 10 回 Japan Business Design & Action Award 2023-2024 で神戸大学起業部 FairMed がグランプリ、HIM が準グランプリを受賞

【5】フィーチャー

- (1) 世界第一位の死因「非感染性疾患 (NCDs)」、その対策をアジアに学ぶ
- (2) 雰囲気学とは何か？

【6】イベント等情報

- (1) イベント情報

【1】トピックス

- (1) 神戸大学校友会東北支部設立記念総会のご報告

神戸大学校友会東北支部は、令和 5 年 9 月 2 日 (土)、仙台市において設立記念総会を開催しました。

東北支部は、東北で初めて設立された同窓会支部であり、東北 6 県 (青森、岩手、秋田、山形、宮城、福島) に在住又は勤務する卒業生・修了者等を会員として、令和 4 年 6 月 13 日付で学友会 (現校友会) 支部として登録されました。登録時、会員は 13 名でしたが、現在、20 名になりました。

コロナ禍での設立であったため、設立記念総会を開催することが難しい状況にありましたが、本年 9 月 2 日、会員 12 名の出席により、無事、開催することができました。ほとんどの会員が初対面でしたが、皆すぐに打ち解け、

和やかで笑顔溢れる総会となり、盛会のうちに終了しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.org.kobe-u.ac.jp/ku-alumni/news/2023/20231207.html>)

(2) 「阪神・淡路大震災 30 年事業委員会」を設置

阪神・淡路大震災から 30 年（2025 年 1 月 17 日）となるのを前に、本学は「神戸大学阪神・淡路大震災 30 年事業委員会」（委員長：藤澤正人学長）を設置しました。神戸大学は被災地の国立大学として、防災や復興にかかわる研究、国内外における研究成果の発信、地域社会への貢献活動を進めていますが、30 年の節目を機にあらためて全学的な蓄積を整理し、今後の研究や教育、教訓の継承等について考える事業を展開します。本学では震災で学生と教職員合わせて 47 人が亡くなっており（旧神戸商船大学を含む）、慰霊・追悼の思いを次世代に伝える事業でもあります。2024 年 1 月 27 日にキックオフとなるシンポジウムを開催し、その後、約 1 年にわたりさまざまな事業や活動を継続していく予定です。

○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_12_21_01.html)

【2】お知らせ

(1) 第 13 回日中学長会議に参加

A large group of approximately 50 people, mostly men in suits and a few women in business attire, are posed for a group photograph. They are arranged in several rows, with some seated in the front and others standing behind. The background is a plain, light-colored wall. The photo is taken from a slightly elevated angle, showing the full group.

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_12_01_03.html)

11月21日、神戸大学百年記念館六甲ホールにおいて、科学技術イノベーション研究科年次定例シンポジウム『低炭素社会の実現に向けた科学技術イノベーションへの挑戦』を開催しました。シンポジウムはオンラインによるLive配信も行われ、会場では53名、オンラインでは198名が参加する中、永田 真科学技術イノベーション研究科長による開会挨拶と研究科紹介から始まりました。



4

○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_12_01_02.html)

(3) 「AI 技術の進化と地域社会の変革」をテーマに議論—神戸でのカンファレンスに藤澤学長が登壇

「AI（人工知能）技術の進化と地域社会の変革～未来のひょうご・神戸のカギ～」をテーマに議論するカンファレンスが11月23日、神戸大学統合研究拠点コンベンションホール（神戸市中央区港島南町）で開かれ、藤澤 正人学長がパネリストとして登壇しました。

産官学の機関がかかわり、さまざまなイベントを企画する「078KOB E 実行委員会」が主催し、神戸大学などが後援。AI 技術の進展で今後、地域社会が大きく変わると予想されることから、その可能性やリスク、人材育成の展望、地域経済の変革にもたらす影響などを議論しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_12_06_01.html)

(4) 令和5年度神戸大学高度専門研修「大学経営人材育成セミナー」を開催

10月11日、23日、11月13日、27日の4日間にわたり、令和5年度神戸大学高度専門研修「大学経営人材育成セミナー」を開催しました。

本研修は、国立大学法人神戸大学の経営人材育成の基本方針に基づき、幹部職員として管理運営を担う人材を養成することを目的に、令和3年度から実施しているものです。

講義は、神戸大学 MBA プログラムでも講義を担当している大学院経営学研究科の松尾 貴巳教授、栗木 契教授、鈴木 竜太教授、服部 泰宏教授を講師とし、課長・課長補佐級の事務系職員 15 名が受講しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_12_06_02.html)

(5) ビズリーチと大学発ベンチャー創出を目的とした協定を締結

神戸大学産官学連携本部と本学子会社である株式会社神戸大学イノベーションは、人材サービス大手の株式会社ビズリーチと、大学発スタートアップの創出を目的とした連携協定を締結しました。

この協定に基づき、即戦力人材と企業をつなぐ転職サイト「ビズリーチ」上で人材を募集することによって、神戸大発のスタートアップ人材登用の仕組み構築に向けて連携します。

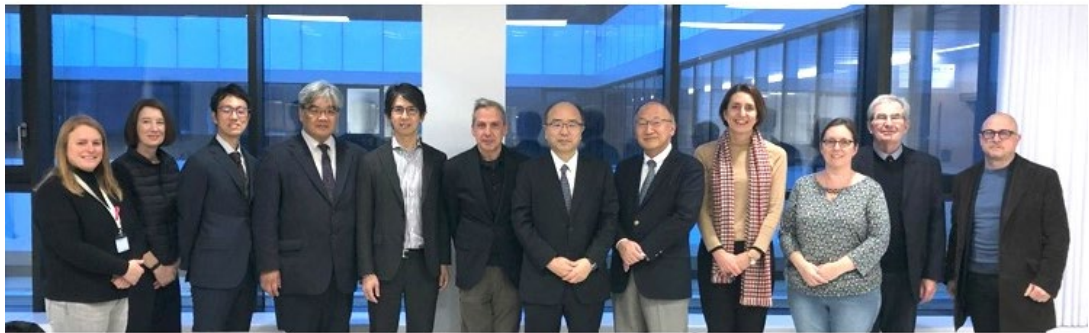


○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_12_05.html)

(6) 第13回神戸大学ブリュッセル拠点フォーラムを開催

11月30日、12月1日に第13回神戸大学ブリュッセル拠点フォーラム
“Conquering Cancer: A Key Role for EU-Japan Research”をブリュッセルで
開催しました。本フォーラムはブリュッセル自由大学(蘭語系) Oncology
Research Centre との共催で、ブリュッセル自由大学(仏語系)とケント大学
(英国)の協力を得て開催されました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_12_12_02.html)

(7) ルーヴェン大学を訪問

11月30日、中村 保理事・国際連携推進機構長がルーヴェン大学(ベルギー)を訪問しました。訪問には、岩本 和子神戸大学ブリュッセル拠点長・国際文化学研究科教授が同行しました。

ルーヴェン大学は1425年に創立され、来年600周年を迎えるベルギー最古の大学です。本学はルーヴェン大学と2010年に大学間学術交流協定を締結して以来、継続的に学生交換を行ってまいりました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_12_12_01.html)

(8) 韓国国立ハンバット大学から訪問

2月7日、韓国国立ハンバット大学の Yoon-Kee Kim (ユン・キー・キム) 材料工学部教授、Yun Jae Seug (ユン・ジェ・ソク) 日本語学部教授及び国際交流担当職員が、中村 保理事・国際連携推進機構長を訪問しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_12_13_01.html)

(9) 神戸大学と神戸新聞社が「情報で、命を守る」アイデアソンを開催
学生とメディア関係者が一緒に議論

神戸大学と神戸新聞社が連携したアイデアソン「情報で、命を守る」が12月9日、新設の大学都市神戸産官学プラットフォーム連携拠点「KOBECOCREATION CENTER」(神戸市中央区)で開かれました。2025年の阪神・淡路大震災30年に向け、災害時の正確な情報提供の在り方を学生と地元メディアと一緒に考えようと企画し、サンテレビやラジオ関西も参加しました。学生とメディア関係者の混成チームで、災害時の情報発信にかかわる課題や解決策を熱心に議論しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_12_13_02.html)

(10) 「第8回神戸大学・北京外国語大学国際共同研究拠点シンポジウム」を開催

12月11日、神戸大学瀧川記念学術交流会館にて北京外国語大学北京日本学術研究センターと「第8回神戸大学・北京外国語大学国際共同研究拠点シンポジウム」を開催しました。

北京外国語大学とは2008年11月に大学間学術交流協定を締結して以降、学術・教育交流を深めてきており、神戸大学大学院経済学研究科とダブル・ディグリープログラムを締結するなど親密な関係にあります。また、2015年1月に北京外国語大学内に、2016年4月に神戸大学内に、それぞれ「神戸大学・北京外国語大学国際共同研究拠点」を設立し、相互交流・協力関係を発展させてきました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_12_14_01.html)

(1 1) eco 活動見学会 2023 を開催

eco 活動見学会は神戸大学の学生を対象に、学外の環境関連施設を見学し、環境に関する視野を広げることを目的として、年 1 回開催しています。今回は 12 月 1 日に大阪湾広域臨海環境整備センター・神戸沖埋立処分場を見学しました。

○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_12_1.html)

【3】研究ニュース

(1) ザトウクジラが漁船周りで拾い食い!?

少エネな餌取り方法に潜むクジラと漁船双方へのリスクに警鐘

神戸大学大学院海事科学研究科の岩田 高志助教、帝京科学大学の青木 かがり准教授、ノルウェー海洋研究所のマーティン・ビュー主任研究員、セントアンドリュース大学のパトリック・ミラー教授、ロンドン動物学協会のマイケル・ウィリアムソン研究員、東京大学大気海洋研究所の佐藤 克文教授らの研究グループは、ザトウクジラが漁船周りで拾い食いをしていたことを発見しました。本研究では、クジラの餌取り行動の柔軟性を示すと同時に、クジラと漁業活動の相互作用に関する危険性について警鐘を鳴らしています。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20231201-15258/>)

(2) 神戸大学と白鶴は、酒粕飼料による国産鶏肉の食味向上効果を確認！

神戸市 CO2 削減支援制度を活用した共同研究で輸入飼料に代わる国産酒粕飼料による国産鶏肉の付加価値向上と CO2 削減を目指す

神戸大学と白鶴酒造株式会社は、2021 年 4 月から、鶏用飼料としての酒粕利用法について共同研究を開始し、2022 年 8 月には、「CO2 排出量を削減する国産飼料原料開発事業」として KOBE ゼロカーボン支援補助金制度の補助事業として採択され、酒粕を飼料化することで飼料を輸入する際に生じる CO2 の削減にも取り組んできました。

この度、研究の一環で、鶏に与える飼料を輸入飼料から国産の酒粕に置き換えることで、鶏肉の味わいが向上することを明らかにしました。今後は国産鶏肉の付加価値向上によるブランド化について、具体的な検討を進めていきます。

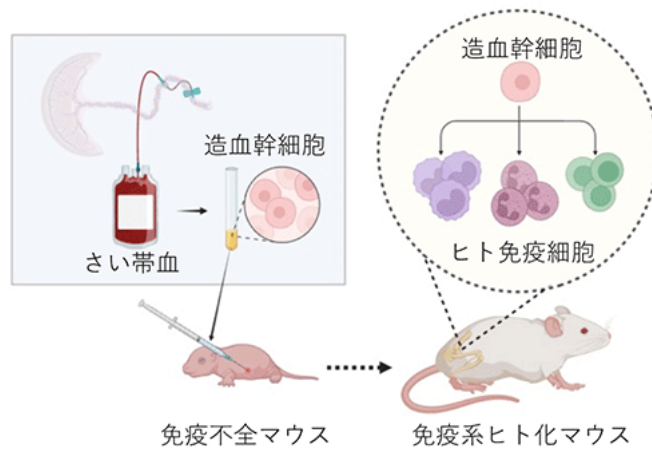


○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20231201-15259/>)

(3) ヒトの免疫細胞を持つマウスを用いたがん免疫療法モデルを開発

神戸大学大学院医学研究科の齊藤 泰之講師らの研究グループは、ヒト免疫細胞をマウス体内に有する免疫系ヒト化マウスを用いることで、ヒト B 細胞リンパ腫内に浸潤したヒトマクロファージを標的とした薬剤（ヒト SIRP α 抗体）による治療効果を前臨床レベルで評価できることを明らかにしました。本研究は、ヒト免疫細胞、特にこれまで技術的に困難であったヒトマクロファージを標的とした薬剤の有効性や作用機序を明らかにしたことから、本モデルを利用することで新たながん免疫療法の開発に直接繋がることが期待されます。

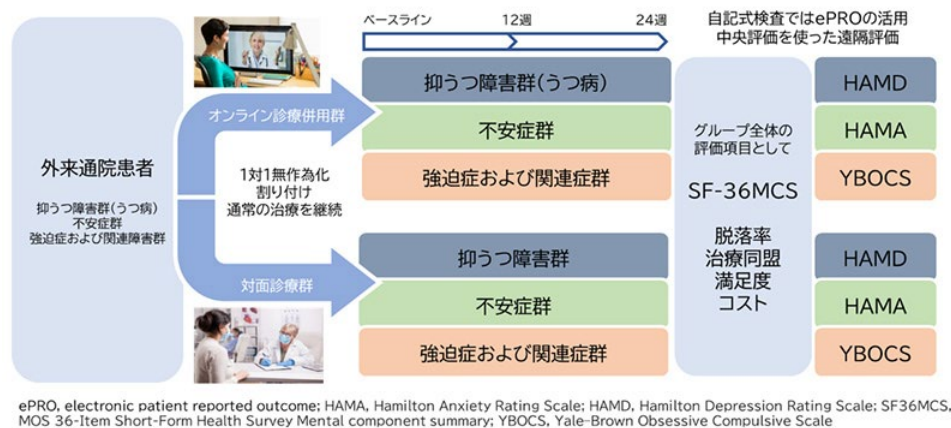


○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20231213-21734/>)

(4) 精神科診療におけるオンライン診療は対面診療と同等の治療効果

慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座の岸本 泰士郎特任教授ら J-PROTECT 共同研究グループ [大阪医科薬科大学 (金沢 徹文教授)、京都府立医科大学 (中前 貴講師)、神戸大学 (菱本 明豊教授；研究当時は横浜市立大学)、東北大学 (富田 博秋教授)、他、総合病院、精神科病院、診療所など全部で国内 19 の精神科医療機関が参加] は、複数の精神疾患に対するオンライン診療を用いた治療効果が、対面診療と比較して劣らないことを、国内初の無作為化比較試験 (非劣性試験) で明らかにしました。



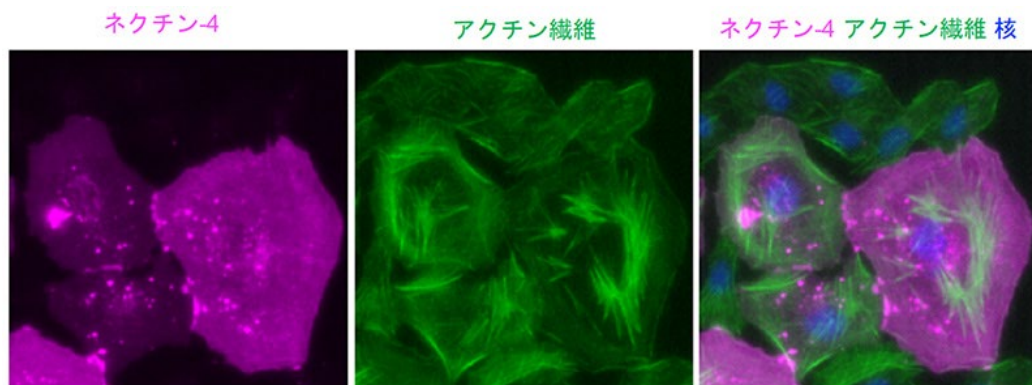
○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20231214-21737/>)

(5) 老化細胞が巨大化する分子メカニズムを解明

神戸大学バイオシグナル総合研究センターの鎌田 真司教授、理学研究科生物専攻の片所 諒子博士後期課程学生らの研究グループは、50 年以上前に報

告された老化細胞が巨大化する現象について、その分子メカニズムと生理的意義の解明に世界で初めて成功しました。加齢とともに体内に蓄積する老化細胞が老化関連疾患の原因となったり、がん治療によって誘発される老化細胞ががんの悪性化やがん治療の副作用の原因となることが示されていることから、体内から老化細胞を除去する方法の開発が求められています。今回の研究成果から、老化細胞の特徴の一つである巨大化が生存維持に働くことが明らかになり、今後、生体から老化細胞を除去するための抗老化薬や抗がん剤の開発に繋がることが期待されます。

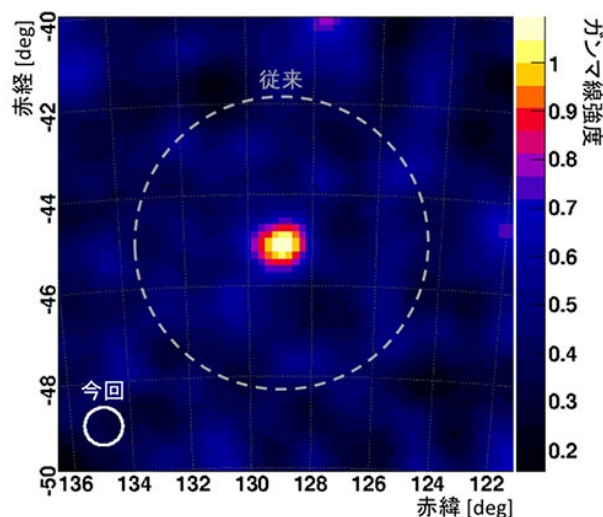


○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20231218-21739/>)

(6) 従来の40倍を超える高解像度を実現する新奇ガンマ線望遠鏡を確立

神戸大学大学院人間発達環境学研究科の青木 茂樹教授、高橋 寛特命助教、名古屋大学大学院理学研究科の中野 敏行准教授、同大未来材料・システム研究所の六條 宏紀助教、中村 悠哉機関研究員らの研究グループは、従来の40倍を超える高解像度を実現する新奇ガンマ線望遠鏡を確立しました。



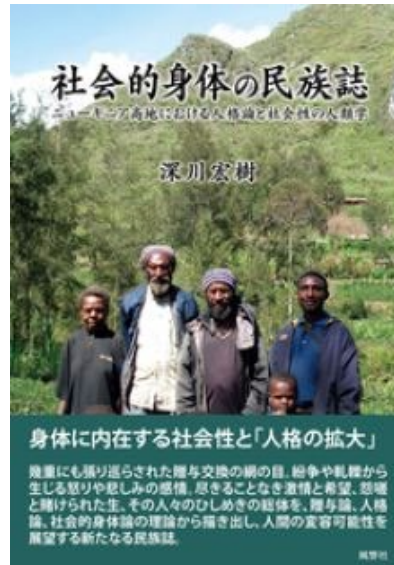
○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20231219-21740/>)

【4】受賞・受章

(1) 国際文化学研究科深川 宏樹准教授が「第 50 回澁澤賞」を受賞

神戸大学大学院国際文化学研究科の深川 宏樹准教授が、『社会的身体の民族誌』(風響社、2021 年)により、第 50 回「澁澤賞」(公益信託澁澤民族学振興基金)を受賞しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_12_08_03.html)

(2) 「ソーシャル・イノベーション・チャレンジ日本大会 2023」の最終コンテストで神戸大学起業部 HIM が若者ビジョン賞を受賞

11 月 21、日国連開発計画 (UNDP) とシティ・ファウンデーション主催の SDGs ビジネスコンテスト「ソーシャル・イノベーション・チャレンジ日本大会 2023」の最終ピッチコンテストで、神戸大学起業部 HIM が若者ビジョン賞を受賞しました。

神戸大学農学部 1 年の高橋 英眞が率いる HIM は、シロアリを活用した水素生成事業のプランを発表し、その大きなビジョンと研究実績、そしてシロアリに向けた深い愛情が審査員から高く評価されました。

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<http://www.innov.kobe-u.ac.jp/entre/news/2023/1201.html>)

(3) 第 25 回キャンパスベンチャーグランプリ大阪（CVG 大阪 2023）にて神戸大学起業部の FairMed が「CVG 大阪最優秀賞」を受賞

12 月 13 日、北おおさか信用金庫・日刊工業新聞社の主催する「第 25 回キャンパスベンチャーグランプリ大阪（CVG 大阪 2023）ファイナル」で、神戸大学起業部の FairMed（代表：福田 純礼、神戸大学医学部 4 年）が AI による血管内手術ナビゲーションシステム開発事業で「CVG 大阪最優秀賞」を受賞いたしました。

キャンパスベンチャーグランプリは、全国 8 地域（北海道、東北、東京、中部、大阪、中国、四国、九州）で展開され、“学生起業家の登竜門”として知られています。地域大会を勝ち上がった学生は「全国大会」で「経済産業大臣賞」「文部科学大臣賞」を目指します。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<http://www.innov.kobe-u.ac.jp/entre/news/2023/1214.html>)

(4) 「ミライノピッチ 2023」で神戸大学起業部 FairMed がグランプリの NICT 賞

12 月 17 日、公益財団法人大阪産業局主催の「ミライノピッチ 2023」において、神戸大学起業部の FairMed（代表：福田 純礼、神戸大学医学部 4 年）が、優れた成績を収めたグランプリにあたる NICT 賞に輝きました。また、HIM（代表：高橋 英眞、神戸大学農学部 1 年）は準グランプリにあたる OIH 賞を受賞し、Standby（代表：出口 茜絵、神戸大学経営学部 2 年）はパソナグループ賞を授与されました。

FairMed は「AI による血管内手術ナビゲーションシステム開発事業」を提案し、その革新的なアイデアと情熱的な取り組みが高く評価されて、海外展開においてもグローバルにはばたくことを期待されています。HIM は「シロアリによる水素生成事業～シロアリ・微生物が日本を救う～」、Standy は「推しがおしえる中学生向けエデュテインメント教材の開発事業」を発表し、その独自性と熱意が高い評価を受けました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<http://www.innov.kobe-u.ac.jp/entre/news/2023/1219.html>)

(5) 第10回 Japan Business Design & Action Award 2023-2024 で神戸大学起業部 FairMed がグランプリ、HIM が準グランプリを受賞

12月14日、一般社団法人ビジネス・アクション・クラブ主催の「第10回 Japan Business Design & Action Award 2023-2024」において、神戸大学起業部の FairMed (代表：福田純礼、神戸大学医学部4年) がグランプリを獲得し、また、HIM (代表：高橋英眞、神戸大学農学部1年) が準グランプリを授与されました。両チームは2024年3月に開催される全国大会への出場権を獲得しました。

FairMed は「AI による血管内手術ナビゲーションシステム開発事業」を、一方の HIM は「シロアリ由来の水素生成事業 ～シロアリ・微生物が日本を救う～」を発表しました。いずれのチームも、その独創的なアイデアと情熱的な取り組みが高い評価を受け、輝かしい成果を達成しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<http://www.innov.kobe-u.ac.jp/entre/news/2023/1218.html>)

【5】フィーチャー

(1) 世界第一位の死因「非感染性疾患 (NCDs)」、その対策をアジアに学ぶ

世界の死因の第一位は、他者からの感染によって引き起こされる病気ではなく、個人の身体状況や生活習慣によって発症する病気、いわゆる「非感染性疾患 (NCDs)」です。糖尿病やがん、心臓病がその例といえます。生活習慣や医療体制の問題から、近年、途上国でも患者が激増しています。NCDs の専門家で、日本や台湾、フィリピンなどアジアの国・地域を対象に比較研究を行っている神戸大学大学院保健学研究科の山口 裕子准教授に、相互に学び合える点のほか、新型コロナウイルス感染症の影響、医療現場での人工知能 (AI) 活用の可能性などについて聞きました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20231207-21656/>)

(2) 雰囲気学とは何か？

「雰囲気学」という学問分野を創出する取り組みが、神戸大学を拠点に始まっています。わたしたちは「雰囲気がいい」「悪い」といった表現を日常的に使うが、その実態は何なのか。学術的に探究していこうと、昨年設立された研究組織が「神戸雰囲気学研究所」(KOIAS=コイアス)です。神戸大学人文学研究科を中心とし、分野を横断して学内外の研究者が集います。「雰囲気学」の現在、今後の目標などについて、代表を務める神戸大学人文学研究科の久山 雄甫准教授(近代ドイツ文学)に聞きました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20231214-21738/>)

【6】イベント等情報

(1) イベント情報

令和5年度のイベント等を以下のページに記載しております。

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/event/index.html>)

★「KU-Net」からのお知らせ

「神戸大学コミュニティネットワーク(KU-Net)」をリニューアルし公開しております。

従来からの、「OB・OG 訪問」の機能に加え、「卒業生からのメッセージ」や「在学生の今」の掲載をしております。また、卒業生等が開催するイベントへの参加申し込み機能も追加しました。

詳しくは、神戸大学コミュニティネットワークホームページ
(<https://www.office.kobe-u.ac.jp/alumni-ku-net/>)でお知らせしています。

また、KU-Net の説明動画を YouTube にアップしておりますので併せてご覧ください。
(<https://youtu.be/ZqHCVW0VsuU>)

是非ご登録ください。

★神戸大学校友会ホームページ

<https://www.org.kobe-u.ac.jp/ku-alumni/>

■支部所属の会員の皆様にもお知らせください

神戸大学校友会事務局

657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学企画部卒業生・基金課内

TEL 078-803-5042 FAX 078-803-5024

E-mail: plan-ku-alumni@office.kobe-u.ac.jp